

～ 奥沢社協 福祉学習・健康増進事業 ～
インボディ測定会

第 29 回測定会 6 月 2 日(日)に開催

今回の測定会は初めて、奥沢まちづくりセンター活動フロアーにて予約制で実施されました。予約した 107 名のうち参加されたのは 102 名でした。当日申込 5 名とスタッフを含めた合計 125 名の皆様が、身長測定・インボディ測定(保健センターの先生等に依る)を行い、その結果相談は Gen.(ゲンテン)さんやふくろうクリニックの理学療法士の先生方、更にあんしんすこやかセンターの方々が担当して下さいました。



初めての場所での測定会でしたが、大勢の方々にお手伝い頂き、とてもスムーズにできました。感謝申し上げます。

注) (株)Gen.(ゲンテン)：東玉川にある地域密着型通所介護リハビリテーションルーム Gen.

ふくろうクリニック：かかりつけ医として脳神経疾患、整形外科疾患、呼吸器疾患、フレイルなどの診断・治療(MRI も活用)およびリハビリテーションを行っている クリニック。



5 年ぶり・第 18 回 奥沢駅前音楽祭

5 月 18 日(土) 19 日(日)の両日、5 年ぶりに奥沢本町商店会主催の奥沢駅前音楽祭が駅前噴水広場で開催されました。大勢の観客が訪れ待ち望んでいた音楽祭を楽しんでいました。

奥沢地区社会福祉協議会は後援団体として参加し、パンフレットによる P R 活動と食で応援プロジェクトの PR、SDGs の食品ロス削減から食品の配布を行いました。あんしんすこやかセンター、民生委員・児童委員協議会も一緒に PR 活動を行いました。

今年度は 1 月に発生した能登半島地震の被災地支援として義援金募金活動を行い 85,975 円の募金をいただきました。皆さまのご協力に感謝いたします。後日、被災地へ義援金として送金いたしました。

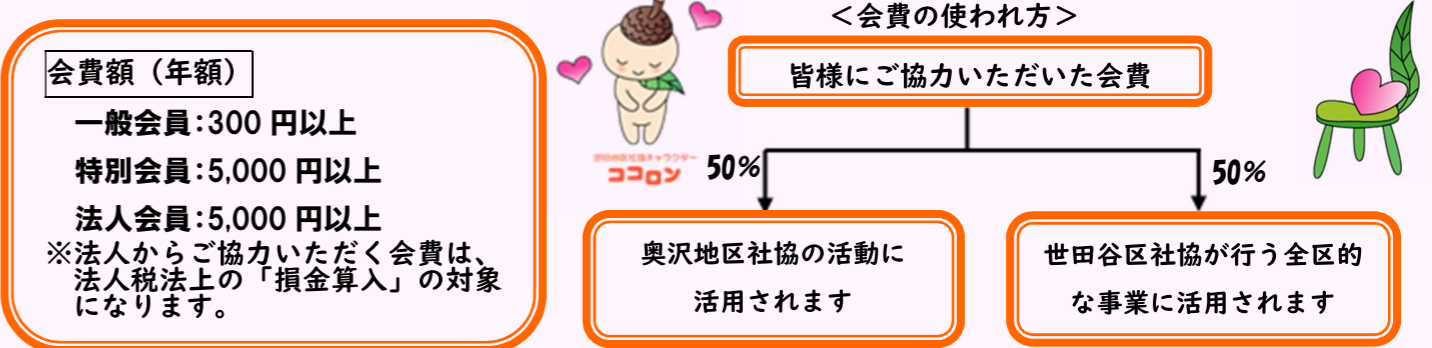


社会福祉協議会(社協)の会費募集のお願い

奥沢地区社会福祉協議会(以下、奥沢地区社協)では、コロナ禍以前は 7 月・8 月を社協会費募集強化期間として、地域の皆様にご理解とご協力をいただいておりますが、昨年度に引き続き今年度も、会費募集につきましては、通年で募集を行わせていただきます。

皆様からご協力いただいた社協会費をもとに、児童館がない奥沢地区での子どもたちが集える場づくり(なかよし子どもスペース)や、高齢者人口の割合が高い奥沢地区(区内 2 位※令和 5 年 4 月時点)での健康寿命を延ばすべく、健康増進事業(インボディ測定会)の実施など、地区の課題に合わせた取り組みを行っております。

大変恐縮ではございますが、お互いに支えあう仕組みとして、皆様のご理解とご協力を賜りますようお願い申し上げます。



◎ご協力いただける方は、**地区社協事業を担う地域福祉推進員が直接社協会費を頂戴しに上がり、社協事業のお知らせをお届けします。**お近くの地域福祉推進員、又は事務局までお問い合わせ下さい。個別に対応させていただきます。

◎社協会費は、右記口座へお振込いただくことも可能です。別途事務局までお問い合わせください。

振込先	社会福祉法人世田谷区社会福祉協議会
	郵便振替口座番号 00140-5-544151

奥沢地区に戻ってきて～奥沢地区の変遷所感～

奥沢あんしんすこやかセンター 管理者 内藤麻里



令和 2 年より他区に異動となり、奥沢を離れておりましたが、この 4 月より 4 年ぶりに奥沢地区に戻ってまいりました。私の異動の後、奥沢まちづくりセンター新庁舎への移転・コロナ禍など大きな変化がありました。戻ってきて改めて感じたことは、奥沢地区のみなさまの地域力の高さです。コロナ禍では、地区活動を中止や縮小せざるを得ない状況だったことと思います。そのような中でも様々な工夫をしながら活動を途切れることなく継続され、つながりが続いている奥沢地区のみなさまの地域力・パワーをいたるところで感じております。そして、みなさまがお元気で活動されている様子から、地区活動こそが健康で暮らし続けることのできる源泉となっているのだと実感しております。あんしんすこやかセンターがデイホーム奥沢の建物からまちづくりセンター内に移転したことも大きな変化となっています。まちづくりセンター・社会福祉協議会と一体的に、タイムリーに連携しながら、地域のみなさまと協働した活動ができるようになっています。奥沢あんしんすこやかセンターは、今年度も奥沢地区社協のみなさまと一緒に活動をしながら、地域の課題解決に向けた取組を進めていきます。今後とも、よろしくお願いたします。

